

平成28年度 サンライフ御立居宅介護支援事業所

事業計画書（案）

年間目標

法令に従い要介護状態にある高齢者に対し、心身の状況、置かれている環境に応じて中立・公平性の立場を忘れず利用者の選択に基づき支援を行っていききたい。また、これまで以上に市長村、地域の保健、福祉サービスとの連携も密にしていきたい。

I. 特定事業所集中減算の回避

特定事業所集中減算については、平成27年度介護報酬改定により80%に引き下げ、対象サービスの範囲の限定が外された。平成28年4月より80%を超える場合に減算が始まる。介護支援専門員の中立、公平性の立場、利用者様、ご家族の選択された介護サービス事業所にも関わらず正当な理由として認められず減算となってしまう理不尽さは否めないが今後も利用者様、ご家族がここのサービス事業所を利用して良かったと思って頂ける事業所の紹介ができるようにする。

II. サービスの質の向上

1. 他職種、他事業所、地域との連携

他事業所、他職種との連携をとり利用者様にとってよりよいサービスが提供できるようにする。必要時には主治医への連絡も行い、地域の民生委員や地域包括支援センターとの関わりを密にする。

2. 専門知識の向上

兵庫県、姫路市主催の研修、地域が行う研修会や学習する場に参加し日々の支援に活用できるように努める。利用者様が住み慣れた地域での生活ができるように地域の情報収集を行う。研修会での内容や情報収集で得た内容、情報は事業所内で共有できるようにする。

外部研修	介護支援専門員専門研修・・・公募後 対象者全員 包括的・継続的ケアマネジメント支援研修・・・年間4回 全員 兵庫県・姫路市など主催の研修会・・・開催時 その他案内等によるもの・・・開催時
内部研修	倫理、個人情報保護に関する勉強会・・・ 全員 情報の収集・共有・・・随時 全員

Ⅲ. 個人情報を含めた情報管理の徹底

マイナンバー導入により居宅介護支援事業所が扱う書類にもマイナンバーの記入欄が付けくわえられているものもある。要介護認定更新などの手続きをスムーズに行うことができるようにであろうと考えているが申請代行を行う事もあるので今まで以上にマイナンバーに限らず情報管理の徹底に努める。

Ⅳ. 介護予防支援

介護予防支援については、地域包括支援センターより委託を受けている。委託利用者の適正なサービス提供に努める。また、今後ますます地域との繋がりが重要になってくると思われる。各地域包括支援センターと連携を図り住み慣れた地域で生活を続けられるようにサービス提供ができるようにする。

Ⅴ. 年間収入の予測

<総収入 予想>

(単位：千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
平成27年度	1,689	1,789	1,788	1,770	1,792	1,752	
平成28年度予想	1,409	1,425	1,417	1,429	1,425	1,450	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成27年度	1,794	1,809	1,803	1,801	1,740	1,650	21,177
平成28年度予想	1,473	1,467	1,484	1,495	1,490	1,486	17,450

<介護予防支援費 委託受入予想>

(単位：千円)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
74	70	70	74	74	74	436
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
74	78	78	78	74	74	892

<訪問調査 委託受入予想>

(単位：千円)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
48	51	42	59	34	43	277
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
48	29	35	34	24	21	468

<年間利用者数の予測>

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援	20	19	19	20	20	20	20	21	21	21	20	20
要介護	135	137	137	136	138	140	142	143	144	145	146	146